

1 CH-R [NGX1・5系]

平成 28 年 12 月～

- 8NR (1.2 ℓ・ガソリン) …3P
- 法定項目の判定基準値…5P
- 特殊な構造及び装置 (メーカー指定項目) …5P

2 CH-R HV [ZYG1系]

平成 28 年 12 月～

- 2ZR (1.8 ℓ・ガソリン) + 1NM (電動機) …7P
- 法定項目の判定基準値…9P
- 特殊な構造及び装置 (メーカー指定項目) …9P

3 RAV4 [MXAA5系]

平成 31 年 4 月～

- M20A (2.0 ℓ・ガソリン) …14P
- 法定項目の判定基準値…16P
- 特殊な構造及び装置 (メーカー指定項目) …17P

4 RAV4 HV [AXAH5系]

平成 31 年 4 月～

- A25A (2.5 ℓ・ガソリン) + 3NM (電動機) + 4MM (電動機、4WD のみ) …20P
- 法定項目の判定基準値…22P
- 特殊な構造及び装置 (メーカー指定項目) …22P

5 ヴィッツ HV [NHP130系]

平成 29 年 1 月～

- 1NZ (1.5 ℓ・ガソリン) + 1LM (電動機) …27P
- 法定項目の判定基準値…29P
- 特殊な構造及び装置 (メーカー指定項目) …30P

6 オーリス [NRE18系]

平成 27 年 3 月～

- 8NR (1.2 ℓ・ガソリン) …35P
- 法定項目の判定基準値…37P

7 カムリ [AXVH70系]

平成 29 年 6 月～

- A25A (2.5 ℓ・ガソリン) + 3NM (電動機) …38P
- 法定項目の判定基準値…40P

8 カローラスポーツ [NRE21系]

平成 30 年 6 月～

- 8NR (1.2 ℓ・ガソリン) …41P
- 法定項目の判定基準値…45P
- 特殊な構造及び装置 (メーカー指定項目) …46P

9 カローラスポーツ HV [ZWE21系]

平成 30 年 6 月～

- 2ZR (1.8 ℓ・ガソリン) + 1NM (電動機) …49P
- 法定項目の判定基準値…51P
- 特殊な構造及び装置 (メーカー指定項目) …52P

10 クラウン [ARS22系]

平成 30 年 6 月～

- 8AR (2.0 ℓ・ガソリン) …55P
- 法定項目の判定基準値…57P
- 特殊な構造及び装置 (メーカー指定項目) …58P

11 クラウン HV [GWS22,AZSH2系]

平成 30 年 6 月～

- 8GR (3.5 ℓ・ガソリン) + 2KM (電動機) …59P
- A25A (2.5 ℓ・ガソリン) + 1KM (電動機) …62P
- 法定項目の判定基準値…63P
- 特殊な構造及び装置 (メーカー指定項目) …63P

12 センチュリー [UWG60系]

平成 30 年 6 月～

- 2UR (5.0 ℓ・ガソリン) + 1KM (電動機) …68P
- 法定項目の判定基準値…71P
- 特殊な構造及び装置 (メーカー指定項目) …72P

13 ハイラックス [GUN12系]

平成 29 年 8 月～

- 2GD (2.4 ℓ・ディーゼル) …76P
- 法定項目の判定基準値…77P

14 ハリアー [ASU6系]

平成 29 年 5 月～

- 8AR (2.0 ℓ・ガソリン) …78P
- 法定項目の判定基準値…80P

15 ピクシスジョイ [LA25・26系]

平成 28 年 9 月～

- KF (NA) (0.66 ℓ・ガソリン) …81P
- KF (TC) (0.66 ℓ・ガソリン) …84P
- 法定項目の判定基準値…85P

16 タンク／ルーミー [M90・91系]

平成 28 年 11 月～

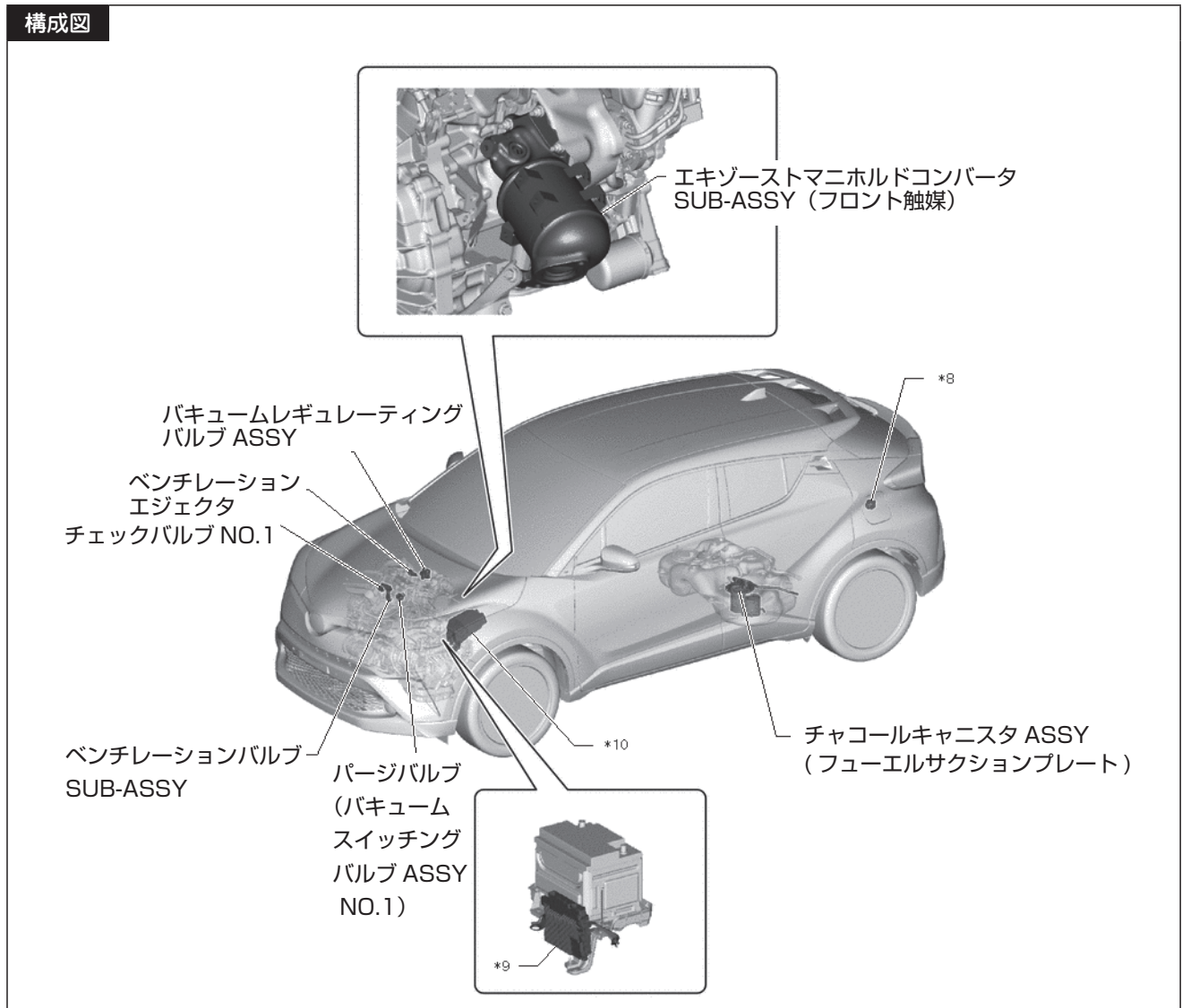
- 1KR-FE (1.0 ℓ・ガソリン) …85P
- 1KR-VET (1.0 ℓ・ガソリン) …88P
- 法定項目の判定基準値…89P

8NR (1.2 ℓ・ガソリン)

◆ブローバイガス還元装置

1 メターリングバルブの状態 / 2 配管の損傷

構成図



◆燃料蒸発ガス排出抑止装置

1 配管等の損傷 / 2 チャコールキャニスタの詰まり及び損傷 / 3 チェックバルブの機能

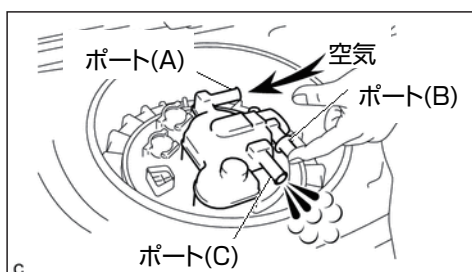
構成図

※ブローバイガス還元装置の構成図参照

【チャコールキャニスタ点検】

〈通気点検〉

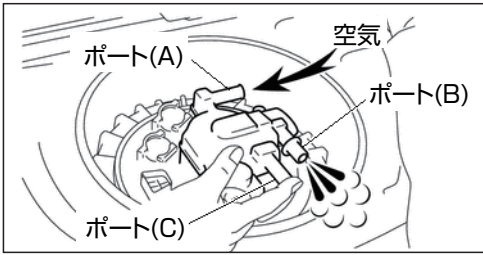
- ①ポート (B) を塞ぎ、ポート (A) に空気を吹き込み、通気があることを確認する。
 [基準] ポート (C) より通気があること。



《チェックバルブ点検》

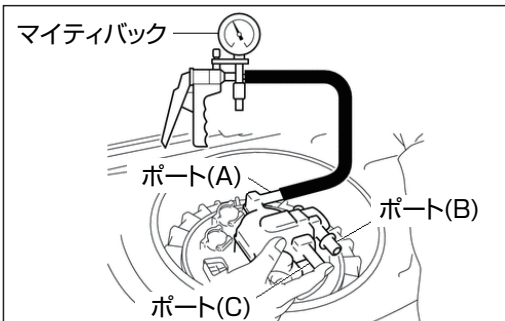
②ポート (C) を塞ぎ、ポート (A) に空気を吹き込み、通気があることを確認する。

[基準] ポート (B) より通気があること。



③ポート (C) を塞ぎ、マイティバックを使用してポート (A) に負圧をかけたとき、ポート (B) より吸い込みがあることを確認する。

[基準] 最初は負圧が保たれるが、負圧を徐々に上昇させるに従い空気が流れ、負圧が一定の値に達すると負圧は低下する。



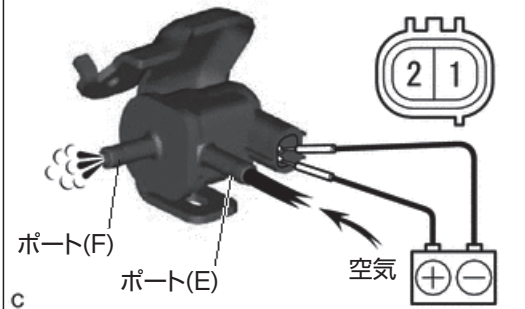
【パージバルブ点検】

《抵抗点検》

①下表に従って抵抗を測定する。

点検端子	点検条件	基準値
1-2	20℃	23to26 Ω

コネクタ非接続状態(パージバルブ
(パキュームスイッチングバルブASSY No.1))



《作動点検》

②ポート (E) に空気を吹き込んだときポート (F) から通気がないことを確認する。

③端子間にバッテリー電圧をかけ、ポート (E) に空気を吹き込んだときのポート (F) からの通気を確認する。

点検条件	基準
1-2 端子にバッテリー電圧をかけたとき	ポート (F) から通気があること
1-2 端子にバッテリー電圧をかけないとき	ポート (F) から通気がないこと

◆一酸化炭素等発散防止装置

点検箇所	該当装置の有 (○)、無 (×)
1 触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷	○
2 二次空気供給装置の機能	×
3 排気ガス再循環装置 (EGR) の機能	×
4 減速時排気ガス減少装置の機能	○
5 配管の損傷及び取付状態	○

法定項目の判定基準値

点検箇所		判定基準
かじ取り装置	ハンドル 操作具合	ハンドルの遊び：0～30mm (ホイール外周にて)

点検箇所		判定基準	
制動装置	ブレーキペダル	遊び (負圧なしの状態) 踏み残りしろ	
	駐車ブレーキ機構	パーキングブレーキの効き具合	
	ブレーキディスク及びパッド	ディスクの摩耗	1～6mm 115mm 以上 (エンジン ON、踏力 300N)
		パッドの摩耗	検査時車両重量の 20% 以上 使用限度：前 25.0mm / 後 10.5mm (厚さ) 使用限度：前後 1.0mm (厚さ)

点検箇所		判定基準
走行装置	ホイール	ホイールナットの緩み
		ホイールベアリングのがた
		ホイールナット締め付けトルク：103N・m 前後：0.05mm 以下 (軸方向)

特殊な構造及び装置 (メーカー指定項目)

1 点検整備方式 (点検整備時期)

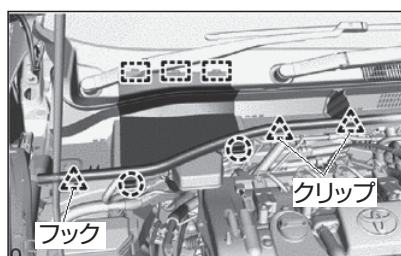
<シビアコンディション>

条件 A：悪路 (凸凹路、砂利道、雪道、未舗装路) B：走行距離が多い C：山道、登降坂路の頻繁な走行 D：短距離走行の繰り返し E：高地走行が多い (標高 2,000m 以上の高地) F：長時間のアイドリングまたは、多頻度の低速走行

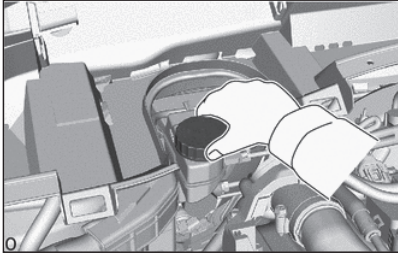
点検整備項目	点検整備時期 (ヶ月毎)			走行キロ 毎の交換 (千 km)	年毎交換 (年)	備考
	自家用乗用車					
	6	12	24			
制動装置 リザーバ・タンク ブレーキ・フルード 交換					2 {3}	{ } は第 1 回目

2 ブレーキフルード交換

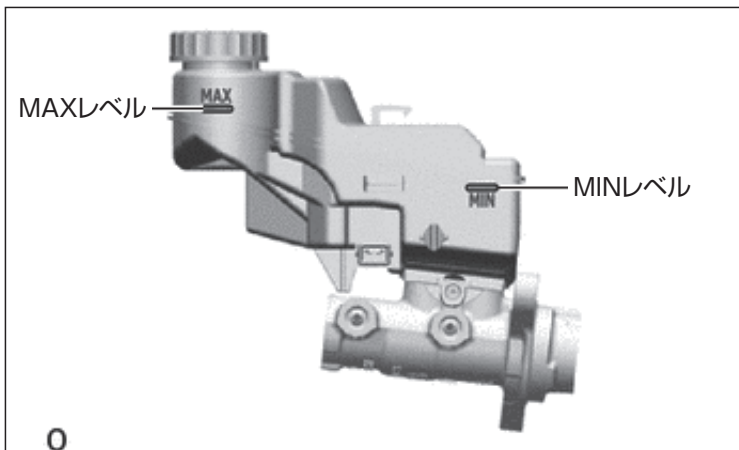
- ①フックおよびクリップ 2 箇所のかん合をはずし、フードトゥーカウルトップシールをカウルトップベンチレーターパ SUB-ASSY から切り離す。
- ②ツメ 2 箇所のかん合およびガイド 3 箇所をはずし、カウルトップベンチレーターパ CTR No.1 をカウルトップベンチレーターパ SUB-ASSY から取りはずす。



- ③ブレーキマスタシリンダリザーバフィラキャップ ASSY を取りはずす。
- ④ブレーキフルードをブレーキマスタシリンダリザーバ ASSY に補充する。
- 〔注意〕・缶の中に十分な量のブレーキフルードが入っていることを確認する。
- ・補充の際、ブレーキマスタシリンダSUB-ASSY上部のリザーバが十分満たされたことを確認した後、ブレーキフルード取替またはエア抜き作業を行う。
 - ・エア抜き作業中は、ブレーキフルードがブレーキマスタシリンダリザーバ ASSY の MIN-MAX ラインの間を保つよう補充しながら行う。



- ⑤ビニールチューブをブリーダプラグに接続する。
- ⑥フロントディスクブレーキシリンダ ASSY RH のブリーダプラグをゆるめる。
- ⑦ブレーキペダルをペダリングし、フロントディスクブレーキシリンダ ASSY RH のブリーダプラグからブレーキフルードを抜き取る。
- 〔注意〕ブレーキマスタシリンダリザーバASSY内のブレーキフルードがMINレベル以下にならないように補充を行う。
- ⑧抜き取り終了時、ブレーキペダルを踏み込んだ状態でブリーダプラグを締め付ける。
- トルク：7.5N・m (76kgf・cm)
- ⑨RHと同様に、フロントディスクブレーキシリンダ ASSY LH のブリーダプラグからブレーキフルードを抜き取る。
- ⑩リヤディスクブレーキシリンダ ASSY RH のブリーダプラグをゆるめる。
- ⑪ブレーキペダルをペダリングし、リヤディスクブレーキシリンダ ASSY RH のブリーダプラグからブレーキフルードを抜き取る。
- 〔注意〕ブレーキマスタシリンダリザーバASSY内のブレーキフルードがMINレベル以下にならないように補充を行う。
- ⑫抜き取り終了時、ブレーキペダルを踏み込んだ状態でブリーダプラグを締め付ける。
- トルク：8.3N・m (85kgf・cm)
- ⑬RHと同様に、リヤディスクブレーキシリンダ ASSY LH のブリーダプラグからブレーキフルードを抜き取る。
- ⑭ブレーキフルード漏れ点検を行う。
- ⑮リザーバのブレーキフルード液面が MAX レベルになるようにブレーキフルード量を調整する。
- 〔注意〕スポイトなどを使用して液量を調整する場合、鉱物油、水、劣化したブレーキフルードを扱ったものは使用しない。シール部品やブレーキフルードが劣化する原因となり、ブレーキフルード漏れ、ブレーキ効き不良の原因となる。



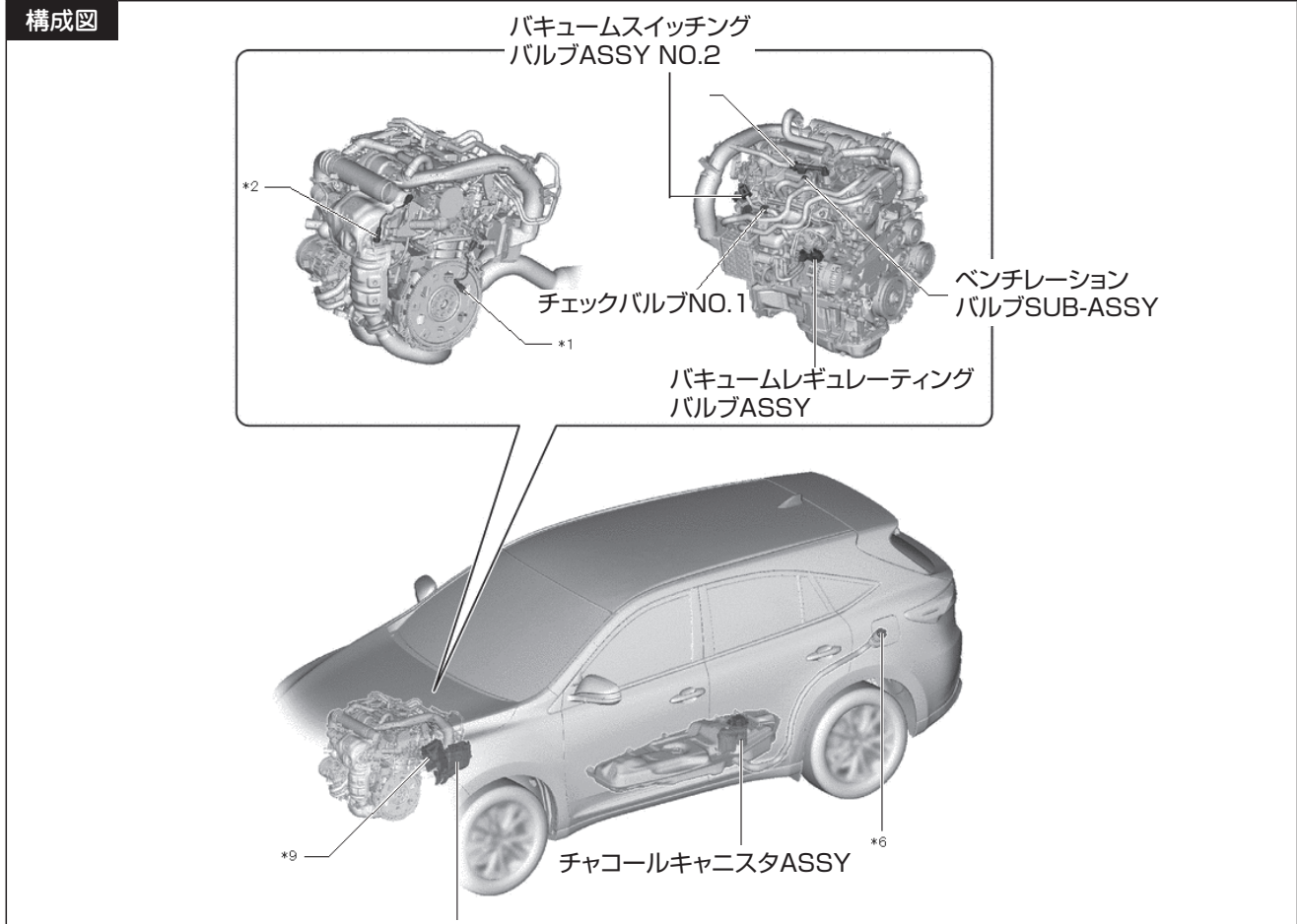
- ⑯カウルトップベンチレータ ルーバ CTR NO. 1 取り付ける。

14 ハリアー [ASU6系] H29.5～

8AR (2.0ℓ・ガソリン)

◆ブローバイガス還元装置

1 メターリングバルブの状態 / 2 配管の損傷



◆燃料蒸発ガス排出抑止装置

1 配管等の損傷 / 2 チャコールキャニスタの詰まり及び損傷 / 3 チェックバルブの機能

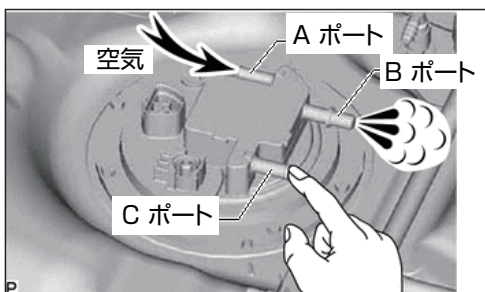
構成図

※ブローバイガス還元装置の構成図参照

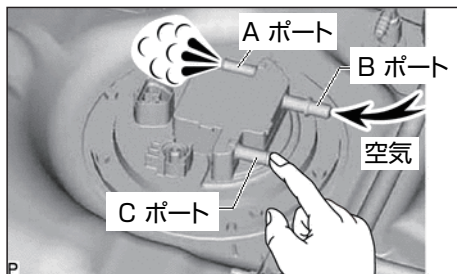
【チャコールキャニスタ点検】

《通気点検》

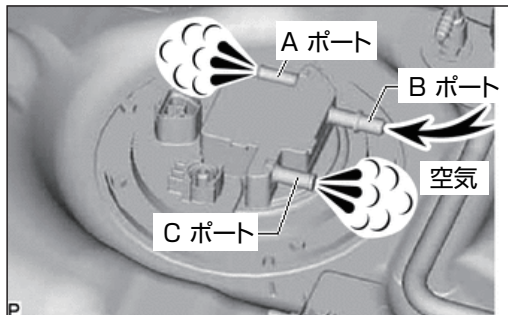
① (C) ポートを塞ぎ、(A) ポートに空気を吹き込んだときに、(B) ポートから通気があることを確認する。



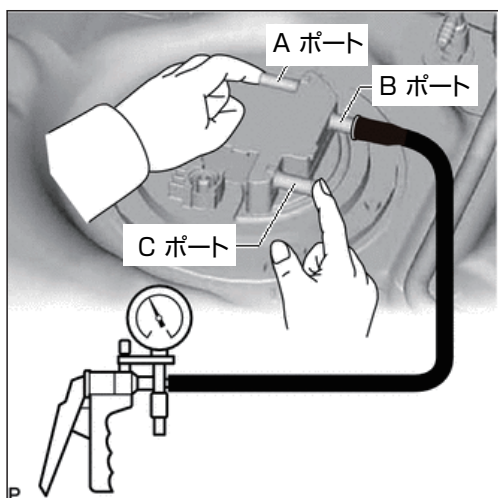
② (C) ポートを塞ぎ、(B) ポートに空気を吹き込んだときに、(A) ポートから通気があることを確認する。



③ (B) ポートに空気を吹き込んだときに (A) ポートおよび (C) ポートより通気があることを確認する。



④ (A) ポートおよび (C) ポートを塞ぎ、マイティバックを使用して (B) ポートに負圧をかけたときに通気しないことを確認する。

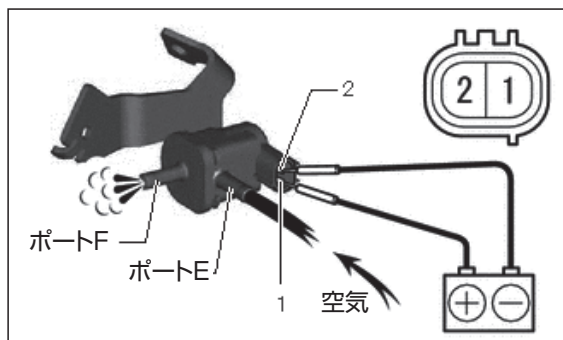


【パージバルブ点検】

《抵抗点検》

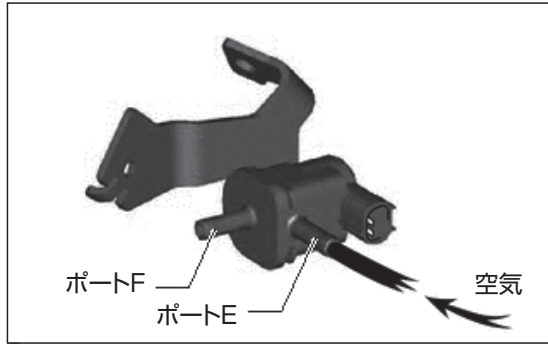
① 下表に従って抵抗を測定する。

点検端子	点検条件	基準値
1 - 2	20℃	23to26 Ω



《作動点検》

②ポート（E）に空気を吹き込んだときポート（F）から通気がないことを確認する。



③バキュームスイッチングバルブ ASSY No. 2の端子間にバッテリー電圧をかけて、コイル通電時と非通電時の E to F ポート間の通気の有無を確認する。

測定条件	基準
通電時	通気あり
非通電時	通気なし

◆一酸化炭素等発散防止装置

点検箇所	該当装置の有（○）、無（×）
1 触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷	○
2 二次空気供給装置の機能	×
3 排気ガス再循環装置（EGR）の機能	×
4 減速時排気ガス減少装置の機能	○
5 配管の損傷及び取付状態	○

法定項目の判定基準値

点検箇所			判定基準
かじ取り装置	ハンドル	操作具合	ハンドルの遊び：0～30mm（ホイール外周にて）

点検箇所			判定基準
制動装置	ブレーキペダル	遊び	1～6mm（負圧なしの状態）
		踏み残り代	80mm以上（エンジンON、踏力500N）
	駐車ブレーキ機構	効き具合：制動力	検査時車両重量の20%以上
	ブレーキディスク及びパッド	ディスクの摩耗	使用限度：前 25.0 mm / 後 10.5 mm（厚さ）
パッドの摩耗		使用限度：前後 1.0mm（厚さ）	

点検箇所			判定基準
走行装置	ホイール	ホイールナットの緩み	ホイールナット締め付けトルク：103N・m
		ホイールベアリングのがた	前後：0.05mm以下（軸方向）

特殊な構造及び装置（メーカー指定項目）

※技術情報に未掲載車種のため、メーカー指定項目情報なし

【資料転載協力】

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| ■トヨタ自動車（株） | ■日産自動車（株） | ■本田技研工業（株） |
| ■三菱自動車工業（株） | ■マツダ（株） | ■株式会社 SUBARU |
| ■スズキ（株） | ■ダイハツ工業（株） | ※順不同 |

【警告】

本書は、各自動車メーカーが発行する各種技術マニュアルをもとに編集しております。各種技術マニュアルからの転載にあたり、小社は各自動車メーカーからあらかじめ図版等の使用許諾を得て本書に使用しています。従って、図版等についての著作権は、各自動車メーカーに帰属します。

本書の著作権は小社および各自動車メーカーが有しています。著作権者に無断でコピーしたり、画像データ等にして送信することは、たとえ一部であっても著作権法違反となります。

《無断転載・複製を禁ず》

略 称：排ガス装置の点検マニュアル Vol.5

自動車点検基準で定める「ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置」の

点検マニュアル Vol.5（令和2年3月発行）

～EGR、エアポンプ等装置の有無と位置を収録～

■発行日 令和2年3月

■定 価 2,500円 送料400円（共に税込み）

■発行所 （株）公論出版
〒110-0005
東京都台東区上野3-1-8
電話 03(3837)5730（代）
FAX 03(3837)5740